

平成22年度 第1回 明舞まちづくり委員会 報告

日時 平成22年7月29日17時～19時（於：明舞センター松が丘ビル3階大会議室）
事務局 兵庫県県土整備部住宅建築局住宅政策課

設立2年目となる「明舞まちづくり委員会」。平成22年7月29日、今年度第1回の会合を開催しました。（参加者52名）約8ヶ月ぶりの委員会であったため、各団体の報告事項で時間の大半を使ってしまいました。

昨年度のふりかえり

まず始めに、昨年度「明舞まちづくり委員会」の4回の会合について報告がありました。委員会の目的等を謳った「明舞まちづくり委員会設立宣言」「明舞まちづくり委員会運営要綱」の決定過程や、松が丘地区のまちづくりに関する個別協議を行った分科会、住民向けに明舞まちなカラボの活動報告を行った特別編などの報告がありました。

明舞センター地区再生事業の進捗状況について

明舞センター再生事業の進捗状況について、各事業者による説明が行われました。明舞中央病院横の「高齢者ホムドグ」の工事については住宅部分は5月完成と若干遅れるものの、高齢者福祉施設部分は3月完成予定であり、高齢者向け住宅の販売を開始したこと、大丸ビョク南の「公社住宅ゾーン」は当初予定の3月完成に向け順調に進んでいることが説明されました。また、「商業及び住民交流ゾーン」では、既存テナントの意向等を勘案し、段階的に整備を進めることとなったことが報告されました。まずは第1期整備とし明石側の空地を活用して新施設を建設する事業を、今年度中の事業者決定に向けコンペを実施することが報告されました。

各地域の課題について

松が丘校区連合自治会から、昨年度実施した分科会の報告がありました。分科会では、明舞センター西側の違法駐車問題への対策を話し合い、まずは利用者モラルの向上と警察への取り締まり要請から取り組むこととなったとの報告がありました。しかし対策にもかかわらず違法駐車が減らないとのことでした。そのほか松が丘地区の重要な景観を形成する松が丘公園、朝霧公園、団地玄関口斜面についての地域の景観向上への取り組みが説明され、こういった地域のまちづくりの推進に関し、これらと密接な関係がある関係各機関への協力への要請がありました。また、神陵台地区では県職員住宅が入札により売却されることについて説明がありました。

明舞夏まつり / 明舞まちなカラボ / 世界団地博覧会について

連合自治会から、8月7・8日に実施される明舞夏まつりの予告と参加のお誘いがありました。

地域代表や大学、NPOが実行委員会を設置して進める「世界団地博覧会」について神戸まちづくり研究所から8月のイベントでは、明舞夏まつりにあわせなつかし写真を集め語り合うイベント等が計画されていること、10月の本イベントでは、全国から団地再生に関心のある方々が集い、住民と一緒に街を歩くなどの事業が計画されているとの説明がありました。

また「明舞まちなカラボ」を運営する兵庫県立大学経済学部からは、昨年度のアンケートの中間報告と、今年度の取り組みとして学生の調査活動、「世界団地博覧会」への参画のほか、学生が中心となって「明舞ウォーカー」なる小冊子をまとめることも計画されているとの説明がありました。地域住民はもとより、域外の手も加わり、明舞団地の再生に向けた取り組みが進みつつあります。

次回開催は12月頃の予定です。